

非人道兵器の輸送も可能に

戦争法案 排除の規定なし

井上議員追及に防衛相認める

戦争法案による米軍への兵たん支援の大幅な拡大で、自衛隊が米軍の保有する非人道兵器・クラスター爆弾などの輸送も可能になることが、3日の参院安保法制特別委員会でも明らかになりました。日本共産党の井上哲士議員が追及しました。↓関連の面

参院安保特

いため現時点で確定的に申しあげることができない」と答へ、輸送を否定しませんでした。

井上氏は「米軍から輸送を依頼されたら断り、非人道的兵器の使用はやめよ」と述べ、排除はしませんでした。

法案では、「戦闘地域」での武器・弾薬の輸送を可能としています。中谷元・防衛相は輸送可能な武器について「法律上、特定の物品を排除する規定はない」と述べ、何でも輸送できることを認めました。

井上氏は「米軍等の『武器問題だ』と述べ、戦争法案の廃案を求めました。」

磯崎氏が辞任拒否

「法的安定性」暴言 解釈改憲を正当化

参考人招致

井上氏は、非人道的な兵器だと禁止が求められてきた劣化ウラン弾や、禁止条約が発効したクラスター爆弾を米軍が保有・使用を続けていることをあげ、「米

磯崎副首相補佐官は3日、参院安保法制特別委員会に参考人として出席し、戦争法案に関して「法的安定性は関係ない」（7月26日の大分市内での講演）と

「軽率な発言で審議に多大な迷惑をおかけした。発言を取り消し、心からおわ

言を取り消し、心からおわ



井上哲士議員
3日、参院安保特委

で日本共産党の井上哲士議員は、磯崎氏の陳述について「それが法的安定性が崩れることになる」と指摘。そんな情勢が変わっても、憲法上やっつけたい必要最小限度は変

8/4 市旗